



(\mathfrak{T})







研究道具としてのAndroid

SIPropプロジェクト 代表 日本Androidの会 事務局長 OESF.jp 理事

今村謙之(いまむら のりつな)

















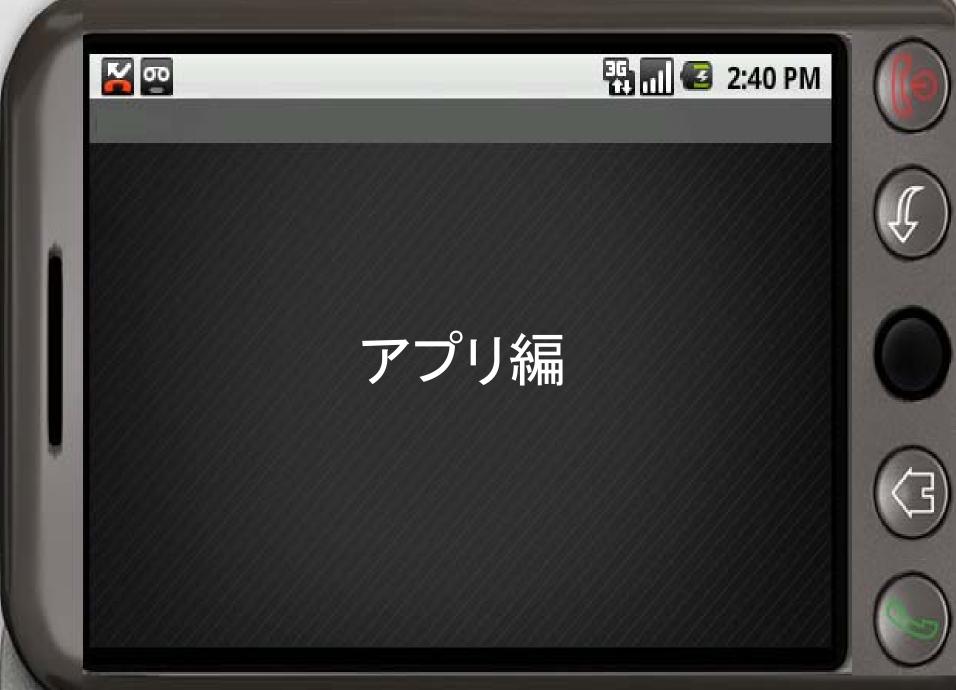








- ・アプリ編
- ●ガジェット編











- OHAさんが開発している
 - 実質、Googleさんが音頭をとっている
 - ●ケータイ向けプラットフォーム
- すべて、オープンソース
 - ●一部、ドライバやCODECが非公開
 - Googleサービス向けも非公開
- ●無償で利用可能
 - ●有料部分はない
 - ●非公開部分の入手手段は 存在しない



















アプリケーション・フレームワーク

- ●開発環境
 - IntelのCPUが入っているマシン
 - Eclipse
 - ●エミュレータ
- Java SE 5『相当』
 - UIに関するAPI
 - SocketやFile I/Oなどの制限が緩い















何が、うれしいのか?

- ●PCが使える
 - 多台数が必要な実験がしやすい!
- ライブラリが使える
 - Javaはライブラリの言語!
 - SakartaのCommonsなどOK!
- ●情報が多い
 - Web上に、サンプルコードなどあり!
 - MLなどによるユーザコミュニティーも盛ん!

















秘密兵器

- Google App Engine for Java
 - Googleさんが提供するクラウド上のアプリケーション 実行基盤



- Google Web Toolkit
 - Javaで書いたモノをJavaScriptなどのAJAX的な ものに変換してくれる





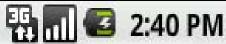






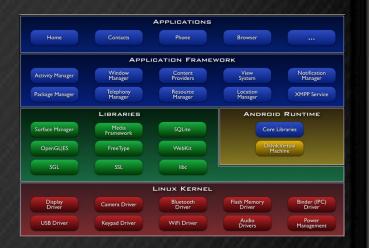






下層へ・・・

- Javaの下に広がっているのは、Linux
 - ●Linuxで動くソフトなら、移植可能性がある
 - ハードウェア&ドライバも追加可能
- JNIによる連携
 - LinuxのCネイティブ化















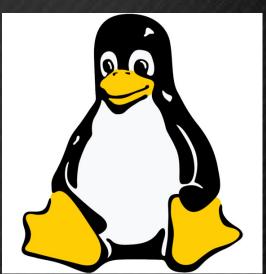






何が、うれしいのか?

- Linuxで使えるモノなら何でも使える
 - ●各種ミドルウェア
 - ・ドライバ
- Linuxが載っているマシンなら、何でも載って しまう
 - NetBook
 - Zaurus
 - ●PSPやDS???

























- 飽くなき要望
 - バッテリー駆動させたい!
 - 大量にばらまきたい!(激安大量仕入)
 - ●センサーや独自機器を取り付けたい!
 - ●野外に置きたいので、筐体から選びたい!

⇒用途に合わせて、チョイスできる



















ありものを利用する

- ●モバイル機器
 - DP1, G1
 - Zaurus
 - Intel系ノートPC
- ●据え置き型
 - ●普通のPC
- ●用途にあったモノを チョイスすればよい

- 対応CPU
 - ●現時点
 - Intel系
 - ARM系
 - ●対応予定
 - MIPS系
 - SH系















激安路線

- ●要するに、『旧機種』を使える!
 - 初代W-ZERO3なんて、3000円とかある
 - ●供給が不安定
 - ●研究なら必要台数も予測可能なので、アリ!
- Intelが使える!!!
 - ●旧式ノートPCを利用可能



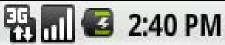






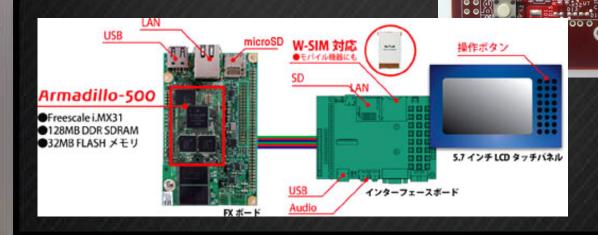






ちょっと、込み入ったことをしたい向きには

- 評価ボード
 - Beagle board
- ●評価機
 - Armadillo-500 FX

















簡単拡張

- ●USBによる拡張
 - USBの機器で、Linuxのドライバがあれば、OK!
- ・ゲイナー
 - 無敵(w





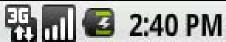
















- ●部品を売ってくれるところ
 - ●チップワンストップ社
 - http://www.chip1stop.com/
- ●基板の設計・制作をしてくれるところ
 - P板ドットコム
 - http://www.p-ban.com/
- 筐体を作成してくれるところ
 - MEFS
 - http://www.kitagawa-ind.com/product/Mef/
- そういう団体
 - EMS-JP
 - <u>http://www.ems-jp.net/</u>















なにが、かわったの?

- LinuxやJavaが提供する世界そのものでは?
 - Linux ⇒ いろいろなデバイスやガジェットが 使える
 - Java ⇒ write once, run anywhere
 - Android ⇒ ハードウェア単位で実行環境が 提供されている

ハードまで、研究道具となる時代がやってきた!









